

インフルエンザ

2016年46週の県全体の定点当たり報告数は、45週の0.80から増加し1.21となった。3週続けて増加し、国が流行開始の目安としている1.00を超えており、今後の流行状況に注意が必要である。

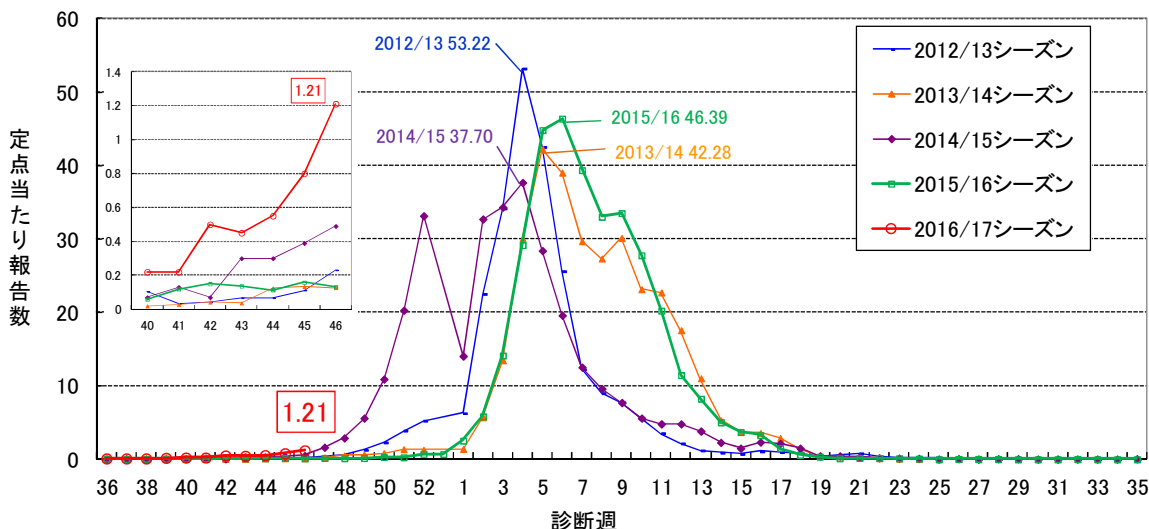
保健所別では、16保健所中12保健所管内で増加し、香取(7.50)、夷隅(7.40)、長生(3.29)、海匝(3.14)が多い。

2016年46週の年齢群別報告割合は、5～9歳26.2%、0～4歳18.5%、10～14歳18.1%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳22.8%、0～4歳16.4%、10～14歳14.5%が多かった。

2016年46週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、237例中A型236例(99.6%)、B型1例(0.4%)、A and B型0例(0.0%)、A or B型0例(0.0%)であった。2016/17シーズン合計では、843例中A型823例(97.6%)、B型16例(1.9%)、A and B型0例(0.0%)、A or B型4例(0.5%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

